

会長挨拶

春の訪れを少しずつ感じ始める時期となって参りました。会員の先生方におかれましてはご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。

国は、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類を2類から5類に変更し、現在、1年近くが経過しました。しかし、今なお医療現場のみならず、社会生活全般にわたりコロナ禍前の状況には戻りきれない状況が続いております。そのような状況の中ではありますが、今年度は4年ぶりに埼玉帝京医会総会を開催いたしました。

今年度の総会は4年ぶりの対面式での開催であったため、特別講演は予定せず、出席された先生方の親睦、懇親を深めていただく時間を多くとらせていただきました。本学からは、川村雅文医学部長・外科学講座教授、深川剛生外科学講座主任教授、中川徹泌尿器科学講座主任教授の3名の教授先生、医療連携室より栗山剛樹課長、石井孝元様、小倉由里子様にご出席を賜り多くの情報交換をさせていただき盛会にて終了となりました。

令和6年度も引き続き会員の先生方のご協力を頂きまして、支部活動を充実させて参ります。引き続きのご指導、ご鞭撻、叱咤激励等頂戴できれば幸いに存じます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

医療法人刀水会齋藤記念病院 理事長 齋藤 卓

令和5年度 会計報告

※令和5年4月1日～令和6年3月31日(単位:円)

収入	
第25回総会 総会収入	221,000
年会費収入 69名	345,000
郵便局利子	12
支出	
役員会経費	32,992
総会 第25回総会経費	302,180
送付代	18,648
消耗品費	6,301
ホームページ維持経費	138,380
硬貨入金手数料	110
計報生花代	16,830

収入支出合計 (収入)566,012 (支出)515,441

収入支出差引残額 50,571

令和4年度繰越金 1,478,280

収入支出差引金額 50,571

令和6年度繰越金 1,528,851

第26回 総会について

毎年7月に行われます「埼玉帝京医会総会」につきましては、

令和6年7月13日(土) 19:00～

パレスホテル大宮3階「銀杏の間」を予定しております。

第25回総会報告 令和5年7月8日 於 パレスホテル大宮



総会には、お忙しい中、川村雅文医学部長・外科学講座教授、深川剛生外科学講座主任教授、中川徹泌尿器科学講座主任教授にご出席を賜り、盛大裏に開催することができました。多数のご来賓を賜りとても有意義な会となりましたことを心より御礼申し上げます。

ブロック長挨拶

<東ブロック> 岩槻南病院 理事長 丸山泰幸

東ブロックの丸山泰幸と申します。昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行、医療現場の状況は感染対策を継続、以前の状態に戻りつつあります。新しい年を迎え、石川県能登地方で発生した令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて本年は、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等の報酬が揃って改定されるトリプル改定や第8次医療計画や医師の働き方改革がスタートします。今回の改定の基本方針では、物価高騰や賃金上昇、患者負担・保険料負担の影響を踏まえた対応等が基本認識として示され、人材不足と言われている現在の雇用情勢も踏まえた人材確保・働き方改革等の推進が重点課題として掲げられています。このような情勢下、我々医療機関も柔軟に対応しながら医業継続に資することが求められています。会員の皆様方の今後のご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。引き続きよろしくご願い申し上げます。

<西ブロック> 坂戸中央クリニック 院長 関根勝

埼玉帝京医会の皆様、こんにちは。西ブロック長の関根です。昨年度はCOVID-19とインフルエンザのダブル流行という状況となり、今年の3月で国からのコロナの助成制度は終了して4月からは発熱外来等の特別枠を設置しても点数の加算はなくなりました。しかしながら、実臨床ではまだまだ一般の患者と発熱者、風邪症状の方の導線は分けざるを得ないのが現状と思います。現在の定点当たりの発症指数は3前後ですが、これまでCOVID-19は夏と冬に2回/年ピークを迎えていますのでまだまだ油断は出来ません。さて埼玉帝京医会ですが、昨年は5類に移行して4年ぶりに開催されました。流石に参加者は少なく、むしろGuestの先生の方が多かった印象を受けました。西ブロックとしては特別なイベントは行なっておらず、十分な時間が経過してから企画をしたいと考えております。帝京関連のeventとして昨年は10期生の集まりがあり、今年は5年ぶりに9期会も開催されましたが、ホテル等、宴会場の人手不足が悲惨で所謂まともな二次会は出来ませんでした。そんな中で今年も大学と地域の密接な医療連携のために埼玉帝京医会での顔の見える懇親会は重要なことと考えています。今年は是非とも多くの先生方のご参加を期待しております。

<南ブロック> 与野中央病院 理事長・院長 関場秀高

令和5年度の活動報告及び令和6年度に向けての豊富

埼玉帝京医会の皆様、南ブロックの関場秀高です。私は平成7年に帝京大学精神神経科学教室に入局し、同教室での研修終了後、他院精神科病院勤務を経て、平成10年に医療法人社団恵仁会与野中央病院に勤務し、現在同法人理事長・病院長です。現在さいたま市において地域精神科臨床医療を行い、一般的な精神疾患である統合失調症ならびに鬱病ないしは躁鬱病ないしは躁病の臨床を中心にアルコール嗜癖の臨床を行っております。コロナ禍により集団的な力を利用した加療が困難でありましたが、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月からの5類相当感染症に変更になり少しずつ従来の臨床環境に戻りつつありますが、まだコロナ禍以前の臨床環境には戻っていない部分を認めています。今後も地域精神科医療を行いながら、少しずつ通常の精神科臨床に戻っていかれたらと思っております。今後共よろしくご願い致します。

<北ブロック> 正田眼科 院長 正田 政一郎

埼玉帝京医会の皆様、北ブロックの正田と申します。昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類相当への引き下げが行われ、本年4月から特例措置も終了し、今では普通の風邪に近い状態になりつつあります。そのような中、一時7割近くまで減った患者の数は少し増えたものの流行前の状態には程遠く8割程度に留まっており、一度減った患者は中々戻ってきません。世間では特に国際的にはロシアのウクライナ侵攻、中東での報復の連鎖、ミャンマーでの軍による虐殺、中国や北朝鮮の脅威、そして地球温暖化による異常気象の影響等、予断を許さない状況であり本当に大変な世の中になってしまいました。暗い話が多いのですが、それでも明るい事では、社会的な交流は活発になり、先日帝京大医学部9期会が5年ぶりに開催され、久しぶりに親交を温めてきました。さらに本年は埼玉帝京医会北ブロック会を4年ぶりに開催する予定です。北ブロックの皆様、多くの参加をお待ちしております。

事務局より

会員の先生方に支えられ、当会は発足から26年を迎えることができました。心より御礼申し上げます。事務局では、先生方のご意見をお待ちしております。なお、連絡先に変更が生じた場合や、入会をご希望の先生をご紹介頂けます場合は、事務局までご連絡下さい。ご協力の程、よろしくご願いいたします。

* 令和6年度 新入会の先生のご紹介 *

医療法人社団 高橋胃腸科医院
理事長・院長 高橋 克行 先生 (16期)

問合せ先 〒335-0002 埼玉県蕨市塚越7-31-10
埼玉帝京医会事務局 和幸商事株式会社 (齋藤記念病院グループ)
TEL・FAX/048-299-7087